

第2期高知県産業振興計画(案)の意見公募手続(パブリックコメント)

に寄せられた主な意見への対応状況<抜粋>

【参考】パブリックコメントの状況 提案された意見:29名、74項目

総論(全体)22件、農業分野3件、林業分野11件、水産業分野1件、商工業分野9件、
観光分野7件、地産地消・地産外商戦略13件、産学官連携1件、人材育成3件、
新エネルギー2件、中山間対策2件

番号	項目	意見概要	基本的な考え方・対応策(案)
1	将来像、目標	・チャレンジすることが重要なので、過去の失敗事例を検証し今後に活かす取組みが重要になると思う。また、中長期的な数値目標に縛られ過ぎると、環境の変化に対応できなくなる場合も予想されるので、柔軟に対応できる仕組みにして欲しい。	産業振興計画は、PDCAサイクルにより、各施策や事業の取組みを点検・評価し、改善を図りながら、効果的な実施に努めている。 数値目標については、世界経済や社会情勢などの環境に大きな変化があり、目標設定の前提が大きく変わった場合には、柔軟に対応していく。 ⇒目標の見直しの考え方は、総論 22Pに記述
2	将来像、目標	・計画の途中で「駄目だ」という時には、修正することも必要。	
3	新たな産業づくり	・保健・医療・福祉を含めたサービス業分野も、産業成長戦略の一つとして取り組んではどうか。	保健、医療、福祉分野は日本一の健康長寿県構想をメインエンジンとして取組み、産業振興計画では、日本一の健康長寿県構想と融合・発展する部分として、関連サービスの産業化に向けて検討することを、第2期計画に位置づける。 ⇒総論 48P
4	新たな産業づくり	・各業種と健康をキーワードにした連携で、高知全体が元気になる仕組みを創る。	
5	計画周知	・ホームページや広報誌などで産業振興計画の内容を県民の方々にお知らせしていると思うが、各市町村でお住まいの方を対象に説明会などを開催し、その市町村で実施している事業の具体的な内容、金額などを十分告知を図るべきではないか。計画への理解が深まれば、結果として他分野の協力、他地域との連携など、新たなアイデアが生まれてくるのではないかと思う。	シンポジウムの開催や地域アクションプランの活動事例集の作成などにより、計画の内容の更なる周知を図るとともに、取組みの機運を高めていく。 加えて、民間事業者の皆様にも産業振興計画にさらに参画いただくため、来年度から、新たな事業展開に挑戦するプランを募集することとしている。
6	地産地消・地産外商戦略の展開	・地産地消推進のため、高知で販売している商品を何品かピックアップして、原材料から容器、パッケージ、最終加工に至るまで、県内製品率、県内加工率などを分析し、どのような材料や加工設備が他県に流れているのか調査研究を実施してはどうか。それを分析し、県内で最低限必要な製造ラインを整備すれば、他県に依頼せざるを得ない分野の隙間を埋められると思う。	どのような製造工程が県外で行われているのか、次なる施策・戦略につなげていくためにも、実態の把握は重要。そのため、来年度、ものづくり地産地消センターの活動の中で実態の把握に努めていく。
7	地産地消・地産外商戦略の展開	・大型の食品加工工場や物流センターなど、県内の企業が分工場のようにシェアをして利用する施設を共同で建設する場合には、行政支援としての大型の補助金は考えられないか。	ご提案にあったような仕組みは、もう一段ステップアップするための有効な手立ての一つと考えており、10年後の目指す姿の達成に向けて戦術を練り上げていく。 既存の制度の活用が難しい場合は、新たな制度の検討もしたいと考えており、今後の具体の提案を期待する。
8	中山間の暮らしを支える産業づくり	・地域産業の担い手確保が背景となっているが、二地域型住居では産業の担い手確保にはなりえないのではないか。大きな役割を果たすであろう、働ける世代をどのようにして引き込むかが見えてこない。	働ける世代への対策は移住促進を進めるうえでも大きな課題。二地域居住がきっかけとなって移住につながり、高知ふるさと応援隊が担い手となることに期待する。引き続き中山間対策の中で総合的に進めていく。
9	林業分野	・総論 P18 の「木材資源を使い切り、木の価値がアップする」という記述は、おそらく「放置林をなくし、また林地残材をできるだけ出さず、お金にしていこう」ということと思われるが、文面だけでは「皆伐してそのまま」と読み取れるので、表現の適正化をお願いする。	ご意見をもとに、「適切な資源循環の中で、余すことなく森林資源を生かしきり、木の価値がアップする。」に修正する。また、再造林に対する支援策により森林所有者の負担軽減を講じていく。

※ 第2期計画で掲げる目標や、医療・介護分野の振興などに関して、パブリックコメントの他、県議会や経済団体からも、同様のご意見をいただいております。それらを含めて考え方を整理したものを掲載しております。